

## HPVワクチン接種後に多様な症状を生じた患者本人からの 医療体制に関するご意見

研修会への参加に承諾をいただいていた方

(今回は、開催場所の都合によりご協力いただかなかった方)

- 症状が重いときは、学校を休まなければいけないことも多かったが、現在では、症状は一部残っているものの、ほとんど気にならない程度になり、学校にも休まず通えている。
- 当初は、「身体面」の自覚症状自体を認めてもらえず、その診断書を書いてもらえなかった。学校やその他に自分の状況を伝える際に、医師による診断書があると、周囲に理解をしてもらいやすくなるため「身体面」「精神面」各々の症状自体を否定せず、現状の診断書を書いて欲しかった。
- 大学病院(協力医療機関)までは、都道府県内であっても遠いので、もっと近くの病院で診てもらえるような体制にしてほしい。また、18歳未満の思春期の患者が受診しやすい体制も検討してほしい。
- 治った方・まだ治っていない方各々の経過、訴えていた症状やその期間などについて積極的に情報提供してほしい。